



学校・地域コーディネーター研修・交流会

令和元年度以前養成講座受講者対象

「地域学校協働活動の“これから”をつくる私たち」

令和8年 5月29日 (金)



研修の目標



経験の中にある「もやもや」と「わくわく」を言語化する



経験者同士の対話から、新しい視点や気づきを得る



自分らしい推進員像を再確認し、次の一步につなげる



★
本日の

学校・地域コーディネーター研修の流れ



導入

★ 今日のねらい ★

- ✓ これまでを振り返る
- ✓ 視点を共有する
- ✓ 協働の在り方を考える
- ✓ 交流を深める

講義



★ 国・市の動向 ★

- 市教委事務局より
- これまでを振り返る



推進員に求められる視点



「つなぐ」「育てる」



関係性のデザイン



地域の多様化

ワーク



★ 交流ワーク ★



まとめ



★ まとめ・次につなげる ★



★ 今日の気づき



● 明日からの一歩



● 地域と学校の物語づくり



● 情報交換



① 平成19年度～令和元年度(2007～2019年)の主な出来事 “平成後期～令和直前”の空気感を思い出すキーワード



社会・生活



- 2007年：郵政民営化スタート
- 2008年：リーマンショック
- 2009年：エコポイント制度開始
- 2011年：東日本大震災・計画停電・復興支援の広がり
- 2012年：東京スカイツリー開業
- 2014年：消費税8%へ
- 2016年：熊本地震
- 2019年：平成から令和へ改元



教育・学校



- 2011年：小学校で外国語活動必修化
- 2012年：いじめ防止対策推進法の議論が進む
- 2015年：マイナンバー制度開始
- 2017年：働き方改革が学校現場でも本格議論
- 2018年：小学校英語教科化の準備が全国で進む



地域・協働の動き



- 地域学校協働本部の整備が全国で加速
- 放課後子ども教室・学習支援の拡大
- 防災訓練・地域防災計画の見直しが活発化（震災後）
- 自治会・PTAの役割見直しが話題に

② 令和2年度～令和7年度（2020～2025年）の主な出来事

“コロナ禍～アフターコロナ”の変化が大きい時期を思い出すキーワード



社会・生活



☐ 2020年：新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言

☐ 2021年：ワクチン接種が全国で本格化

☐ 2022年：行動制限が段階的に緩和

☐ 2023年：マスク着用ルールが個人判断へ

☐ 2024年：物価高騰が社会課題に

☐ 2025年：大阪・関西万博



教育・学校



☐ 2020年：休校・オンライン授業の急拡大

☐ 2021年：GIGAスクール端末が全国で整備

☐ 2022年：学校行事の縮小→再開へ

☐ 2023年：ICT活用授業が定着

☐ 2024年：教員不足が社会問題として注目

☐ 2025年：生成AIの学校活用ガイドライン整備が進む



地域・協働の動き



☐ オンライン会議・オンライン地域活動が一般化

☐ 地域学校協働本部の機能強化（文科省の重点施策）

☐ 子ども食堂・地域学習支援の広がり

☐ 防災・福祉・子ども支援の多機関連携が進む

☐ 地域行事が“リアル＋オンライン”のハイブリッドへ

横浜教育ビジョンの流れ (2006～2030)

【2006】横浜教育ビジョン(初代)



- 教育のまち・横浜
- 子どもに育みたい力「知・徳・体・公・開」



【2007～2011】横浜教育ビジョン推進プログラム



- 横浜教育改革会議の提言を反映
- 15の重点政策(読解力・英語・情報教育 など)
- 地域連携の制度化が進む



【2010～】横浜市教育局振興基本計画(第1～2期)



- ビジョンの実行計画を継続
- 家庭・学校・地域の協働を強化



【2018】横浜教育ビジョン2030



- 2030年を見据えた新ビジョン
- 4つの方向性
 - ① 子どもの可能性を広げる
 - ② 魅力ある学校をつくる
 - ③ 豊かな教育環境を整える
 - ④ 社会全体で子どもを育む



【2018～現在】教育振興基本計画(第3～5期)



- 第3期:ビジョン2030のアクション開始
- 第4期:教育DX・いじめ防止・学びの保障
- 第5期(2026～):教職の魅力化・グローバル教育



まとめ:

🌐 2006ビジョン → 📘 推進プログラム → 🏫 教育振興基本計画 → ★ ビジョン2030 → 📊 第3～5期計画へと発展

推進員の役割の変遷と成長ストーリー

つなぐ ↓ 支える ↓ 広げる ↓ 創る ↓ 共創する

-  **2006 つなぐ人**
学校と地域を結び、教育のまちづくりを始める
-  **2007～2011 協働をつくる人**
地域活動の制度化、協働の場づくりを推進
-  **2012～ 関係を育てる人**
学校・地域・家庭の連携を支える調整役へ
-  **2018 未来を描く人**
多様な主体とともに新しい学びを創る
-  **2018～現在 共創を進める人**
教育DX・地域共育・持続的な協働をデザイン

横浜教育ビジョン

2006～2018

初代ビジョン



教育のまち 横浜

2018～2030

横浜教育ビジョン2030



未来志向の教育

横浜市教育振興基本計画

第1期 2010～2013

第2期 2014～2017

第3期 2018～2021

第4期 2022～2025

第5期 2026～2029

初代ビジョン期



ビジョン2030期

推進員の役割の変遷と成長ストーリー

2006



つなぐ人

2007～2011



協働をつくる人

2012～



関係を育てる人

2018



未来を描く人

2018～現在



共創を進める人

つなぐ → 支える → 広げる → 創る → 共創する

本日の研修ワーク



5つの視点

子どもの成長 地域とのつながり 学校への貢献

自分の学び

活動の意義

見えにくいものを言語化しましょう

地域学校協働推進員研修 ワークシート

経験の中にある“もやもや”と“わくわく”を言葉にして次の一步を見つける

① 活動で感じた“もやもや”

- ・どんな場面で？
- ・何が気になった？
- ・なぜ気になったと思う？
- ・まだ整理できていない点は？



特に気になる“もやもや”は？

② 活動で感じた“わくわく”

- ・どんな出来事？
- ・どんな瞬間に心が動いた？
- ・その理由(価値観)
- ・伸ばせそうな可能性



③ グループ共有

キーワード

・共感したこと ・発見したこと ・応援コメント

④ 今日の研修で見てきた「自分らしい推進員像」

- ・大切にしたい価値観
- ・自分の強み
- ・これから試したい小さな一歩



経験の中にある
“もやもや”と“わくわく”を
言葉にして次の一步を見つける

① 活動で感じた“もやもや”

- ・どんな場面で？
- ・何が気になった？
- ・なぜ気になったと思う？
- ・まだ整理できていない点は？



“もやもや”は
“悪いこと”ではなく、気づきの種です

特に気になる“もやもや”は？

② 活動で感じた“わくわく”

- ・どんな出来事？
- ・どんな瞬間に心が動いた？
- ・その理由（価値観）
- ・伸ばせそうな可能性



“わくわく”は、
あなたの価値観や強みが表れています」

グループワーク

・共感したこと ・発見したこと ・応援コメント

- ・ Aさんの“もやもや”で印象に残ったこと
- ・ Aさんの“わくわく”で印象に残ったこと
- ・ 気づき／応援コメント

- ・ Bさんの“もやもや”で印象に残ったこと
- ・ Bさんの“わくわく”で印象に残ったこと
- ・ 気づき／応援コメント

- ・ Cさんの“もやもや”で印象に残ったこと
- ・ Cさんの“わくわく”で印象に残ったこと
- ・ 気づき／応援コメント

- ・ Dさんの“もやもや”で印象に残ったこと
- ・ Dさんの“わくわく”で印象に残ったこと
- ・ Dづき／応援コメント



まとめ・次の一歩

- 今日の対話で見えてきたこと
- 自分の活動に活かしたい気づき
- 次に試してみたいこと・行動の一歩

A light blue speech bubble with a rounded rectangular body and a small tail at the bottom left. It contains five horizontal dashed lines for writing.A solid yellow rectangular sticky note with rounded corners, intended for additional notes or reminders.A white spiral-bound notebook with a grey cover and a silver spiral binding on the left side. It contains ten horizontal dashed lines for writing.



「地域学校協働活動の“これから”をつくる」

～紡いできたものを次へ～



「もやもやの裏側には、あなたが大切にしている価値観があります」
「わくわくは、あなたの得意や役割のヒントです」